

次期多摩市みどりと環境基本計画への「多摩市気候市民会議の市民提案」の反映方針（案）

市民提案145項目の反映状況 ※反映できたもの(①+②+③+④)62.1%

資料6

反映方針		項目数	割合 (-と/を除いて計算)
◆：取組項目で既に実施（引き続き取り組むもの）		15	12.1%
◇：取組項目で今後対応		26	21.0%
●：分野横断的取組で既に実施（引き続き取り組むもの）		13	10.5%
○：分野横断的取組で今後対応		23	18.5%
△：分野横断的取組で今後対応について検討		47	37.9%
-：事業主体が市以外の国や都で行うべきもの、環境以外の分野の施策あり		16	-
/：行政計画に示す取組項目として馴染まないもの		5	-

テーマ	30年後に実現したい環境・社会のイメージ	区分	取組提案 (大項目) 45項目	取組提案 (小項目) 145項目	役割分担 ○：主体的に実施 △：情報提供・支援	取組項目への反映方針		分野横断的取組への反映方針					
						◆：既に実施（引き続き取り組むもの） ◇：今後対応 -：事業主体が市以外の国や都で行うべきもの、環境以外の分野の施策あり /：行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	●：既に実施（引き続き取り組むもの） ○：今後対応 △：今後対応について検討 -：事業主体が市以外の国や都で行うべきもの、環境以外の分野の施策あり /：行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	市民	事業者	行政	反映方針	取組項目	反映方針
食・消費	食やエネルギーの自給率が高いまち		a.地元のお店で環境に配慮している企業の食品・商品・地域の野菜や食品を買う。地産地消を実現する	1	地元のお店で買うことで物流コスト、CO2削減につながる。地域の経済がまわる	○	△	△			○	【3-2】食の地産地消の普及	
				2	多摩市と近隣市町村で連携し、栽培可能な野菜は100%の自給率を目指す		○	△	-	※他分野施策あり：東京農業振興プラン	-	※他分野施策あり：東京農業振興プラン	
				3	地元野菜売りの取組はスーパーでも行われているので、広げる		○	△			○	【3-2】食の地産地消の普及	
				4	多摩市が地元野菜の売り場（コミュニティセンターや図書館併設）をつくり、様々な媒体（紙・デジタル）でPRしていく。直売所ももっとPRする。	△	△	○			△	【3-2】食の地産地消の普及 ※実現可能性について要検討（例：地元野菜のマルシェの実施）	
	リデュース・リユース・リサイクル、シェアが進んだごみや無駄なロスがないまち	消費社会からの脱却	b.環境に配慮したものや、愛着の湧く良いものを選び、長く使う	c.サブスクリプションやリースなどで、消費型の企業モデルを見直す	5	消費者意識を変えることが大切	○	○	○	◇	I1：ごみの発生抑制と減量の推進		
					6	修理して使う魅力、価値をもっと伝える	○	○	△	◇	I1：ごみの発生抑制と減量の推進		
					7	環境に配慮した商品を選びやすくなるように、わかりやすいマークをつくる	△	○	△	◇	I1：ごみの発生抑制と減量の推進		
					8	次から次へと買い換えが進む仕組みを変え、サブスクリプションやリースによって長く様々な人が使うことを前提として、長持ちする製品をつくる		○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及
					9	家電には部品保持のルールがあるので耐用年数を明記するルールをつくる		○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及
					10	修理した方が安いという状況をつくる		○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及
					11	企業が透明性を高めて、部品などのリサイクル率を示すことが必要。環境負荷について情報公開を求めていく	○	○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及
					12	昔、個人の電気屋さんが修理していたように、長い保証に入って修理して使い続ける	△	○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及
					13	過剰包装プラスチックの量を減らす	○	○	△	◆	I1：ごみの発生抑制と減量の推進、I5：プラスチックの削減		
					14	詰め替えボトルもプラスチックではなく環境に優しい素材にする		○	△	◆	I1：ごみの発生抑制と減量の推進、I5：プラスチックの削減		
					15	企業によるペットボトルプラスチックのリサイクルをさらに進める		○	△			●	【3-1】資源循環型の生活の普及
					16	プラスチックの使用に税金をかけるなどの規制を行う			△	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため
					17	自販機が多すぎるので、ペットボトルの消費も増える。冷水器を増やす		○	△			●	【3-1】資源循環型の生活の普及
ごみ・資源循環	リデュース・リユース・リサイクル、シェアが進んだごみや無駄なロスがないまち	3R：リデュース・リユース・リサイクル	g.不要になるものは買わない。ごみが出ることを減らす	18	基本をデジタル出版として必要時のみ紙化する	○	○	△			△	【3-1】資源循環型の生活の普及	
				19	速度の早い情報はデジタル向き	○	○	△			△	【3-1】資源循環型の生活の普及	
				20	紙が好きな人も多く、小説などは紙向き	○	○	△			△	【3-1】資源循環型の生活の普及	
				21	図書館も人気本は複数用意しているので、もっと図書館を利用すると良い	○	○	△	-	※他分野施策あり：図書館運営	-	※他分野施策あり：図書館運営	
				22	スーパー、百貨店等から残菜が出ないようにする。出たら飼料化する		○	△	◇	I3：食品ごみの削減<新規>			
				23	恵方巻などの季節の商品は完全事前注文制として、残菜を出さない	△	○	△	◇	I3：食品ごみの削減<新規>			
				24	企業の残菜の排出量に対してペナルティを課す			○	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため	
				25	まずはごみを減らすことが大事	○	○	△	◆	I1：ごみの発生抑制と減量の推進			
				26	ごみの削減がCO2の削減につながる	○	○	△	◇	I1：ごみの発生抑制と減量の推進			
				27	必要な分だけ買うようにする	○	○	△	◆	I1：ごみの発生抑制と減量の推進			
				28	出してしまったごみはしっかり分別する	○	○	△	◆	I2：ごみの適正処理に向けた分別の徹底			
				29	消費が減っても成り立つ経済が必要	△	○	△	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため	
				30	使いたい人に譲る、寄付をする、リメイクする	○		△	◆	I1：ごみの発生抑制と減量の推進			
				31	まわりに必要としている人がいない場合は公共施設に回収場所を設置し活用する	○		○			●	【3-1】資源循環型の生活の普及	
				32	子ども服などを地域で交換できる場をつくる（フリマサービスのような代価のある交換も活用する）	○	○	△			○	【3-1】資源循環型の生活の普及	

			i.ごみ箱を広くまちなかに設置して、しっかり分別と管理をすることで、回収したごみを効率的にエネルギーに変換する	33	買ったラベルやキャップをすぐ分別して捨てられるごみ箱を設置する		○	○	◆	I4：プラスチックの削減							
			34	ごみ回収作業が、高齢者や障がいのある方などの雇用にもつながり、セーフティネットのようなものになる			○	○	◇	I2：ごみの適正処理に向けた分別の徹底							
			35	ごみ箱を増やすとごみが増える可能性もあるので、慎重に進める				○	○	◇	I2：ごみの適正処理に向けた分別の徹底						
			36	学校から試してみる					○	○	◇	I2：ごみの適正処理に向けた分別の徹底					
			37	企業はラベルがない商品を検討する				○	△				△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について検討（例：企業との連携による社会実験や研究開発）			
			使い捨てプラスチックの削減	j.プラスチック製品を減らした生活をする	38	詰め替え用の製品にしてボトルは再利用することでプラスチック消費量を減らす		○	○	△	◇	I4：プラスチックの削減					
					39	プラスチックで過剰包装されたものは選ばない		○	△	△	◆	I4：プラスチックの削減					
					40	減らすのはもちろん、長持ちする素材や自然に還る自然素材でつくっているものを買う		○	○	△	◇	I1：ごみの発生抑制と減量の推進					
					41	個人の消費行動で企業を変える。意識のある消費者を増やし、取り組む企業を増やす		△	△	○				○	【3-1】資源循環型の生活の普及		
				k.コンビニや自動販売機などを、ドリンクバーや給水機に変えて、ペットボトルの消費を減らす	42	使い捨てボトルではなく、マイボトル等に好きなドリンクを給水できるしくみをつくる		○	○	△	◆	I4：プラスチックの削減					
					43	学校、行政や大企業主導から始めることで、インパクトを狙う				○	○	◇	I4：プラスチックの削減				
				l.使い捨てをなくすためにマイ〇〇を使う	44	「〇〇」は、ボトル、箸、瓶、容器・弁当箱、袋、ストローなどのさまざまな道具		○		△	◇	I4：プラスチックの削減					
					45	既に持っているものを使って、なるべく新たに買わずに、マイ〇〇を用意して移行する		○		△	◇	I4：プラスチックの削減					
				m.プラスチックのストローをなくす	46	学校では給食の牛乳パックが瓶に代わりストローをなくすことに成功している。今後はストローを使っているお店などに、使い捨てプラスチックではないストローを使うか、ストローを必要としない飲料の提供方法に切り替える				○	△	◇	I4：プラスチックの削減				
				n.リサイクルを促すために、ペットボトルもデポジット方式にする	47	自動販売機の横に返金される機能やポイント機能が付いたリサイクルボックスを設置する				○	△				○	【3-1】資源循環型の生活の普及	
			48		分別したくなる仕掛けにする				○	△				○	【3-1】資源循環型の生活の普及		
			49		一部商業施設では既に実施しているので普及させる				○	△				○	【3-1】資源循環型の生活の普及		
			暮らし・住環境	環境と経済に優しい住まいに暮らせるまち	住まいの省エネ	o.電気や水道水などの無駄遣いにつながる行動をなくす	50	行動を無くすための意識・心がけをする		○	○	△	◆	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進			
							51	電気のつけっぱなしをしない		○	○	△	◆	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進			
							52	水を出しっぱなしにしない		○	○	△	◆	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進			
p.照明、家電や電気機器を省エネ対応のものへ適切に交換し、エネルギー効率が良い住まいにする	53	すでに学校や公共施設では人感センサーのものに切り替わっている場所がある					○	○	○	◆	G2：省エネルギー型の設備や機器の導入<拡充>						
	54	電気などの無駄遣いを解決する手法の1つとして、公共施設等をモデルとし、先行して行う					○	○	○				○	【1-1】住宅・建築物の脱炭素化			
エコ住宅・タウンの推進	q.より豊かで便利な暮らしを送ることができるエコ住宅・団地の改修を推進させる	55			脱炭素生活を送りながらも、より豊かで便利な暮らしができるエコ団地への改修を市が主導して行う		△	△	○				△	【1-1】住宅・建築物の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：ZEH-M等の導入促進）			
		56			団地の種類により意思決定が異なるため、それぞれの意思決定に合わせて丁寧に進める		○	○	△				△	【1-1】住宅・建築物の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：ZEH-M等の導入促進）			
		57			バリアフリー法のように、これからの建築・改修において、省エネや環境配慮が必要な条件となるように法律で義務化する				○		-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため			
		58			学習ルーム、ゲストルームなどの共有スペースを増やすことで、各家庭でのエネルギー使用量を減らし、共有スペースの運用には再生可能エネルギーを使用する				○	△			△	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信			
		59			団地の改修の際に、モデル団地を位置付けることで企業が積極的に関われるようにする				○	△			△	【1-1】住宅・建築物の脱炭素化 ※実現可能性について検討が必要			
		60			住宅の太陽光パネル設置は、行政主導でエリアごとを実施し、各家庭のコストを削減させる		△		○				△	【1-2】再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消 ※実現可能性について要検討			
r.多摩らしさのある環境コミュニティが醸成され、エコな暮らしが当たり前になっている	61	多摩らしさのあるモデル的な環境コミュニティをつくる				○	○	△				△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討（例：各種団体や市民、指導者との連携支援等）				
	62	エネルギー効率がよく、自給自足もできる、エコな暮らしが当たり前になっている				○	○	△				△	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信 ※実現可能性について要検討（例：地域通貨アプリ等の活用）				
	63	エコではない暮らしよりも、エコな暮らしを選択した方が豊かで便利な暮らしが送れる		○	○	△				△	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信 ※実現可能性について要検討（例：地域通貨アプリ等の活用）						
みどり豊かな住環境が整った、健康的に暮らせるまち	s.グリーンカーテンや葎簷（よしず）、打ち水やミストなどを活用し、エアコンの温度を上げること	64	太陽光を遮って部屋の温度を下げる。育てることにより、自然への気づきを得る		○		△	◇	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進								
		65	日々のメンテナンスも大切で、育てた後の片付けも大変になる				△	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの						

			で住まいのエネルギー効率を上げる	66	蜂が巣をつくる課題もあるが、葺葺（よしず）など管理しやすいものを利用する	○		△	◇	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進			
				67	散水・打ち水の実施、ミストなどを設置、水で遊べる場などをつくる			○				△ 【1-4】 気候変動の影響への適応力強化 ※実現可能性について要検討（例：ミストシャワー等の導入促進）	
			i.団地内にみどりや住環境について話せる場やガーデニング、シェア農園などの取組を進める	68	団地や集合住宅の係のなかに、水や電気などから環境について継続して考える担当をつくる	○	○	△	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	
				69	居住者向けのフリーマーケットやガーデニング、シェア農園（屋上菜園）などを取り組む	○	○	△	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	
				70	大規模な団地では、敷地内をシェアサイクルなどで移動できるようにする	○	○	△				△ 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：自転車シェアリングの利用方策の検討）	
エネルギー	脱炭素なエネルギーをつくるまち		u.太陽光発電は、パネルの製造から廃棄までを考えて広めていく	71	製造から廃棄まで考えることで、他の環境問題の対策を考える際のモデルになる	○	○	○				○ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
				72	製造については産業として育てる。廃棄については環境への影響を少なくする			○	△			△ 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：再エネ電力の利用拡大に向けた情報提供・啓発等）	
			v.太陽光発電が広がる基準や仕組みをつくる	73	太陽光パネルの設置や継続に対して補助金を給付する			○				● 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
				74	屋根を行政に貸出す仕組みをつくり、設置からメンテナンスまでを行政が担うことで、住民の負担が減らす			○				△ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消 ※実現可能性について要検討（例：PPAモデル等の導入）	
				75	耐震基準のように、パネルの設置や断熱機能などにおける基準を定めて義務化する			○	-	※国や東京都の取組のため	-	※国や東京都の取組のため	
				76	多摩市の小学校 16 校の陽当たりが良い未利用プールを活用し、太陽光パネルを設置する（災害時にも役立つ）			○				△ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消 ※実現可能性について要検討（例：公共施設での太陽光発電設備の導入）	
			w.水素ステーションを増やし、水素エネルギーを活用する	77	水素ステーションを市内に数多く設置する			○	△			○ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
			x.ごみやバイオマスなどを活用して、地域でエネルギーを発電し地域で有効に使う、エネルギーの地産地消の仕組みをつくる	78	多摩市ではごみ処理場の熱をプールや公共施設などに利用している（再エネではなく火力だが、ごみは燃やさなくてはならない）が、そのような取組を進める			○				● 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
				79	廃食用油も回収すればSAF（持続可能な航空燃料）になるので、多摩市として収集して活用する	○	○	△				△ 【3-1】 資源循環型の生活の普及 ※実現可能性について要検討（例：廃油のバイオ燃料等への活用）	
			y.人が集まるところに楽しく発電できる機能づくりと仮想通貨「多摩環境コイン」で分かりやすく効果	80	サイクル発電、ランニング発電、トランポリン発電、お散歩発電など、様々な「遊び」を使って発電を可視化し、楽しくする			△	○			△ 【4-1】 脱炭素ライフスタイルについての情報発信 ※実現可能性について要検討（例：発電体験を含む啓発の実施）	
	エネルギー消費が少なく、蓄めたエネルギーをみんなでかきこく使えるまち		z.省エネ+蓄エネの取組を進める	81	家屋に断熱材や二重窓を取り入れる（効果的補助ありとする）	△	△	○				● 【1-1】 住宅・建築物の脱炭素化	
				82	省エネ家電の買い替え時に補助する	△	△	○				● 【1-1】 住宅・建築物の脱炭素化	
				83	グリーンカーテンの取組を進める	○	○	△	◆	G1：家庭・事業所での省エネルギー行動の実践・推進			
				84	EV のバッテリーを地域の人たちが共同利用できるような仕組みをつくる	△	○	△				△ 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：EVバイクのバッテリーシェアリング）	
				85	蓄電のための施設を建設する			○	○			△ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消 ※実現可能性について要検討	
				86	EV のバッテリーを住宅用にリサイクルして蓄電池として活用する新サービスの活用			○	△			○ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
				87	太陽光のエネルギーで水素を作って蓄める技術の実用化			○	△			○ 【1-2】 再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消	
			aa.CO2削減効果を見える化する仕組みをつくる	88	環境コインやポイント制で省エネ+蓄エネの取組を進める			△	○			△ 【4-1】 脱炭素ライフスタイルについての情報発信 ※実現可能性について要検討（例：地域通貨アプリの活用等）	
				89	家庭での電気の消費量も家庭内で見える化できる仕組みを取り入れる	○	○	△				○ 【4-1】 脱炭素ライフスタイルについての情報発信	
移動	歩き・自転車・ベビーカーや車いすなどで暮らしやすい、コンパクトなまち	徒歩	ab.なるべく歩いて移動する	90	脱炭素だけではなく、健康づくりにも良い徒歩を、個人の取組として心がける	○		△				● 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：ウォーカブルなまちづくり）	
			ac.楽しく歩いて移動できる環境をつくる	91	歩きやすい舗装、休憩場所、ベンチなどを設置する			○	○			△ 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：ウォーカブルなまちづくり）	
				92	多摩市は遊歩道が 40km 以上あり、公園、川、緑などの歩く環境が整っているため、その魅力を発信する	○		○				● 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 （例：ウォーカブルなまちづくり）	
				93	見頃の花やその場の魅力など、楽しく歩けるコンテンツや楽しみ方を伝える	○		○				● 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 （例：ウォーカブルなまちづくり）	
				94	他都市に出かけなくても多摩市内で楽しめる、公園や緑の資源を活かしたコンテンツを整える	△	△	○				△ 【1-3】 移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：ウォーカブルなまちづくり）	
		自転車	ad.車の利用を減らし、なるべく公共交通や自転車を使う	95	近隣へは徒歩や自転車で行く	○	△	△				● 【1-3】 移動・交通の脱炭素化	
				96	遠方には自転車、バスや電車で移動する。最終手段として、車を使う	○	△	△					● 【1-3】 移動・交通の脱炭素化

			97	電車に自転車に乗せられるようにする		○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討（例：企業との連携による社会実験や研究開発等）
		ae.自転車道を整備する	98	一般市民が日々の生活で安心して自転車に乗れるように道路環境を整備する			○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：歩行・自転車利用環境の整備）
			99	まずはポールなど立てて、車とより分離し、安全に乗れるようにする。いずれは自転車優先道を整備する		○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：歩行・自転車利用環境の整備）
		af.自転車のシェアリングスポットを増やして便利にすることでシェアリングを増やす	100	住宅地にスポットを増やすことで利便性を高める（駅前などの便利な場所には十分にあるが、生活圏の中にはない）		○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：歩行・自転車利用環境の整備）
			101	地域コミュニティの拠点とシェアリングスポットを組み合わせることで、口コミで上げられる			○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：歩行・自転車利用環境の整備）
			102	市民への特典など利用を促すインセンティブを提供する		○	△			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：歩行・自転車利用環境の整備）
CO2を排出しない手段で移動できるまち	車移動	ag.乗り合いで、排出量を減らす	103	乗り合い/ライドシェアを可能にする環境や制度を整える		○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：国や東京都への要望）
			104	実現方法の検討、インセンティブなどの仕組みづくり、タクシー会社との連携が必要		○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：国や東京都への要望）
			105	ベンチャー企業や起業家の協力、市・市民による投資が必要	○	○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討（例：企業との連携による社会実験や研究開発等）
		ah.車を利用する場合はエコドライブし、環境に配慮した車を選ぶ	106	運転の仕方を変えて、すぐに効果を出す	○		△			●	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信
			107	環境に配慮した車の所有や環境の整備は、個人の責任ではなく、まち全体の責任として捉える	○		△	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため
			108	自宅でも充電できるように支援する	○		△			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：V2Hの導入促進）
	自転車	ai.個人が所有する電動自転車のバッテリーを太陽光発電で充電できるスポットをつくる	109	すでに太陽光発電をしている学校などにモデル事業として設置する			○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：EV充電スポットの導入促進）
			110	多摩市全体を発電所・電力供給源にする多摩モデルをつくる	○	○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：EV充電スポットの導入促進）
			111	充電場所：団地・集合住宅・住まい、駅、学校、商業施設、公共施設など	○	○	○			△	【1-3】移動・交通の脱炭素化 ※実現可能性について要検討（例：EV充電スポットの導入促進）
			112	将来的には、バッテリーを交換できる仕組みを開発する		○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討（例：企業との連携による社会実験や研究開発等）
		aj.聖蹟桜ヶ丘と多摩センターの間に若者が担う人力車を走らせ、観光も呼び込む	113	聖蹟桜ヶ丘と多摩センターを結ぶ人力車		○	△	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの
		教育・情報発信	一人ひとりが気候変動対策を自分ごととして捉えている	ak.様々な視点で脱炭素の実現に向けた正しい情報・選択肢を市民、企業、行政、教育機関で共有する	114	脱炭素の実現に向けて、何が正しいかわからない人へのアプローチとして、実態や最善のアクションの理解を深めることが大切	○	○	○	◇	K1：地域と連携し楽しみながら行う環境教育の推進
115	深い議論やコミュニケーションを経ることでマインドチェンジする				○	○	○			○	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり
116	正しい情報や知識を得ることで市民が、企業や行政に関わるきっかけにする				○	○	△	◇	L2：環境情報の提供		
al.まずは自分の生活のことを“知る”ことから始めて排出量を意識する	117			家族間、親子間で情報共有するなど、気候変動の現状や自分たちの生活の実態を把握する	○		△	◇	L2：環境情報の提供		
	118			食べ残し、買いすぎ、リサイクル、節水・節電、移動など、自分の生活で楽しめること、プラスになることから行動する	○		△	◇	L2：環境情報の提供		
	119			自らの行動が料金の節約や健康づくりにもつながり、モチベーションが維持できることが大切	○		△	◇	L2：環境情報の提供		
小中学校での環境や気候変動についての教育が充実し、情報発信を積極的に行っている	am.教育機関と連携し、脱炭素について知る・学ぶ・考える場やツールをつくり、コミュニティづくりにもつなげる		120	高校生がつくる気候変動ゲームを小学校の授業で実践するような、小学校・中学校・高校の教育現場で活用できる場やツールをつくる	○		○	◇	K1：地域と連携し楽しみながら行う環境教育の推進		
			121	学生、大人、子ども向けでT-danceのような動画をコンペで募集するなど、SNSやYouTube、CM等のメディアを活用した情報発信を行う	○	○	△	◇	K1：地域と連携し楽しみながら行う環境教育の推進		
			122	学校単位でなく、ALL多摩の生徒会で取り組むなど、各教育機関同士が連携し、学校の授業（カリキュラム）で取り組みやすくなるような仕組みをつくる	○		○	◇	K1：地域と連携し楽しみながら行う環境教育の推進		
	an.SNSで多摩市気候市民会議を国内外に宣伝し、将来的に環境や気候変動に関心のある市民が興味を持ってくれるように発信する		123	多摩市での気候変動の楽しそうな取組を発信し、ブランディングする	○	○	○			○	【4-2】幅広い市民にわかりやすく、関心を持ってもらえる情報発信
	ao.国内外に向けた多摩市大人の見学ツアーで「環境都市多摩」をアピールする		124	エコプラザ、ダストシュート、清掃工場、市庁舎改修を見学し、海外を含む他都市にアピールしたうえで取組を推進する	○		○	◇	K1：地域と連携し楽しみながら行う環境教育の推進		
			125	街路灯のソーラー化、人感センサーによる省エネ化			○	◆	G2：省エネルギー型の設備や機器の導入<拡充>		
126		海外への発信が、更なるネットワークやムーブメントづくりにつなげる	○	○	○			○	【4-2】幅広い市民にわかりやすく、関心を持ってもらえる情報発信		

イノベーション・新技術・研究	企業や大学等との連携を活かして気候変動対策を加速させている	グリーンTRANSフォーメーション(GX)を応援・支える、社会の構造を変える	ap.「CO2削減」の技術会社に投資したり、ユーザーになるなどして、協力・応援する	127	GXに絡んだ新しい取組に理解を示し、応援していることを伝える	○	○	△		○	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信
			128	株主になるなどして、企業を応援する	○	○	△	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの	/	※行政計画に示す取組項目として馴染まないもの
			129	地産地消のエネルギーのユーザーになる	○	○	△			○	【1-2】再エネの利用拡大とエネルギーの地産地消
			130	社会実験などに参加・協力する	○	○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：社会実験の実施)
			131	個人も起業、商品化、サービス化して環境で儲ける	○	○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：企業との連携による社会実験や研究開発等)
			132	個人の脱炭素行動を誘発するポイント制や、事業者向けの税制免除・優遇措置を設ける			○			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：地域通貨アプリの活用等) ※税制免除・優遇については、国や東京都の取組み
			133	GX投資の利益に減免して個人の資産形成をはかる	○		○	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため
			134	容器包装・商品の製造、消費のCO2排出量に応じた税金の課金(例：ごみ袋有料化)			○	-	※国や東京都の取組みのため	-	※国や東京都の取組みのため
			135	廃校や移転跡地を活用し、まちの機能更新をはかる			○	-	※他分野施策あり：公共施設総合管理計画の取組	-	※他分野施策あり：公共施設総合管理計画の取組
	環境研究都市づくり	as.今はない新技術を生み出す環境研究都市づくり“Test Town TAMA”として、研究機関等を誘致したり、大学等と連携したりして社会実験や取組を実施する	136	若い人や研究者などの転入を促進する			○	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン
			137	住宅地としてエネルギー・食料を消費するだけの「ベッドタウン」を付加価値創造のまちにする	△		○	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン
			138	ごみの分別による再資源化・エネルギー化、バイオマス発電、再エネ技術を導入する企業を誘致する			○			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：企業誘致)
			139	実証実験の受け皿、情報発信の拠点となる「ラボ」をつくり、市民・行政・企業・学校などが参加したり、小さな組織やマイクロファクトリーが点在して、それぞれが脱炭素に向けたチャレンジをできるようにする。	○	○	○	-	※他分野施策あり：自治推進委員会での検討	-	※他分野施策あり：自治推進委員会での検討
			140	多摩ニュータウンの団地更新とともに、新しい活用の実験をする	△	○	△	-	※他分野施策あり：多摩ニュータウン再生	-	※他分野施策あり：多摩ニュータウン再生
			141	まち全体にスマートグリッドという新技術を導入、地域内に電気の発電と配電網を整備するエリアを設ける	△	○	△			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：市民等からの提案・アイデアの実装に向けた研究開発)
142	汚れたプラスチックを再生するなどごみの有効活用をはかる実験的な取組をする	○	○	○			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：市民等からの提案・アイデアの実装に向けた研究開発)			
143	期間、エリアを限定してペットボトル飲料の販売禁止などを試行してみる			○			△	【5-1】市民・民間事業者など多様な主体が協働して取り組んでいくための体制づくり ※実現可能性について要検討(例：市民等からの提案・アイデアの実装に向けた研究開発)			
144	個人・事業者のCO2排出量を一瞬で見える化する技術を導入する	○	○	○			△	【4-1】脱炭素ライフスタイルについての情報発信 ※実現可能性について要検討(例：見える化ツールの活用促進)			
145	先進的な取組で有名になり、シビックプライドの醸成につながる	△	△	○	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン	-	※他分野施策あり：ブランドビジョン			